

茨城県・栃木県の豪雨による甚大な水害にあわれた皆様には
謹んでお見舞い申し上げます、被災された皆様の一日も早い復旧を
心からお祈り申し上げます

中秋の候となりました
秋の夜長を いかが過ごされますか？



子育て支援の理想形 ～ ピッコロの取り組み ～

静岡福祉大学社会福祉学部教授 相原 真人 氏

私とピッコロの出会いは 5 年ほど前。当時、ピッコロは「ホームスタート」という新たな子育て支援を日本で初めて開始し、少しずつ軌道に乗せ始めている時期でした。それが現在、清瀬市から受託している「ホームビジター派遣事業」です。そのような中、私は、大正大学の西郷泰之先生を初めとするホームスタートの効果を確認する研究チームのメンバーとして、小俣さんたちと一緒に仕事をさせていただくようになったのでした。

ところで「子育て支援」とは、文字通り、親が自分の子どもを育てていくのをサポート（支援）することです。ただ、「親の子育て」と一口に言ってもそこには様々な形がありますし、その背景には、その親（若しくは家庭）の価値観が存在します。言い換えれば、その家庭の「文化」ということになるでしょう。親の子育てを支援する場合、これら親の価値観を理解し、家庭の文化を尊重する必要があります。何故なら、価値観や文化を無視した支援はその親や家庭に受け入れられず、結果的に何の効果ももたらさないからです。

ピッコロは、ホームビジター派遣事業だけでなく、24 時間対応一時預かり訪問事業や育児支援ヘルパー派遣事業なども展開していますが、そのほとんどは個々に家庭を訪問しその家庭に合わせた支援を提供するという方法をとっています。そして、このような方法をとるからこそ、一人ひとりの親が持つ価値観や一つひとつの家庭の文化を尊重しやすくなり、最終的には「大切にされている」と感じてもらえるようになるのです。

ピッコロのこのようなあり方は、子育て支援を行う上での「理想形」と言えるのではないのでしょうか。ややもすれば支援を行う側の価値観を一方向的に押し付け、子育ては「こうでなければならない」と型にはめ込むことも決して少なくない中、個々の親や家庭のあり方を大切にしながら共に歩むピッコロの姿には「寄り添う」という言葉が相応しいように思えます。今後ともこのような支援が広がっていくことを願わずにはられません。



清瀬市育児支援ヘルパー養成講座 受講者募集します!! (詳しくはチラシをご覧ください)
手元にない方は事務所へご連絡ください。





ホームビジター報告会を終えて!!

8月29日、けやきホールセミナーハウスにおいてホームビジター報告会を行いました。

相原真人(静岡福祉大学社会福祉学部教授)先生から「ホームスタートの意義と効果 ～地域の子育て支援者として～」と題して講演をしていただきました。

その後に、利用者さんとビジターさんのお話を伺いました。

【ホームビジターを利用された方のお話し】

利用するきっかけは、二人目出産して育児支援ヘルパーやファミサポなど利用していたが、いざ子ども2人連れて外出するときにどうしよう?と思ったこと。

利用する前は、無償で自宅に来ていただくからには、何か特別困っていたり、問題を抱えていないといけないんじゃないかと思ったが、本当にちょっと困った・・・で利用できると聞き、安心しました。

ビジターさんと出かけた後、日常の中のちょっとした話を「そうそう!」って同じレベルで共感してくれるビジターさん。ただそこにいてくれるだけでいい。むしろそういう存在を求めているんだ、と利用してみて、初めて自分のそんなニーズに気付くことができました

【ホームビジターさんのお話し】

ホームビジターは8日間の養成講座を受講して活動します。ホームビジターを知ったのはピッコロが福祉医療機構の複数年の助成金を通った時で、8年ほど前になります。

活動を始めてみて、難しいなあと思う事もあり、自分が役に立てるかと心配しましたが、訪問が終わってオーガナイザーさんから、「喜んでたよ」という言葉を聞き、ほっとしながらも嬉しい気持ちになりました。

清瀬市の渋谷金太郎市長さんは、最初から最後まで「今日は学ばせて頂きます」という言葉の通り、座って下さりお話しを聴いて下さいました。「市長さん、庶民的で好印象」という参加者からの感想も寄せられたほど、目線を同じにしてお話ししていただきました。最後に「とてもいい支援なので頑張ってください!」というお言葉をいただきました。

近隣市の行政や団体の方なども含め50名以上の方が出席されました。以下のような感想をいただきました。

- ・利用者さんとビジターさんの交流を通して、お互いに豊かになっているのを感じました。
- ・研修を受けることで使命感が生まれる。その人の良い面が開花していくという信念が素晴らしいと思いました。



清瀬市市長
渋谷金太郎さま



「ピッコロルーム」から

8月の猛暑、9月の長雨と外遊びに出られない日が続きましたが、9月中旬も過ぎ、心地良い秋風の中、ピッコロルームではお散歩によく行きます。

4人乗りの黄色いベビーカーが子ども達は大好きで、「キイロ キイロ!!」と指差しをして、みんなで乗ると、とても楽しそう!川の音を聞いたり、ねこじゃらしを触ったり、お友だちと顔を見合わせたり、子ども達にとっては、電車に乗ってる気分なのかもしれません。



ファミリー・サポート・センターの紹介DVDが入賞!!

ピッコロが清瀬市より委託を受けている「ファミリー・サポートきよせ」のアドバイザー、依頼会員、提供会員が(財)女性労働協会に協力をし、桜映画社が撮影にあたったDVDが下記の内容の入賞をしたとの連絡がありました。

一般財団法人日本教育映像協会が主催する平成27年度優秀映像教材選奨(通称・教育映像賞) ●優秀作品賞(社会教育部門 市民生活向)「地域でささえる子育て2 ～ファミリー・サポート・センターの活動～」

ご協力して下さいました皆さん、ありがとうございました。このDVDは全国のファミサポの活動に使われています。



ピッコロとの出会いから

支援者 高橋 和代 さん

ピッコロとの出会いは清瀬に越してきた11年前、本屋で偶然見つけたピッコロマップでした。マップを見て、2才になった末っ子を自転車に乗せ公園や図書館などに行ったりしました。マップは知り合いもいなくて街の事もわからなかった私を助けてくれました。ピッコロに入ったのは上の2人を育ててる時には聞いた事がなかったファミリーサポートというサービスを知り、少しでも子育て中の方のお手伝いができればと思ったのがきっかけでした。ファミサポだけでなくつどいの広場、育児支援ヘルパー、ホームビジターなど私の子育ての時にあれば利用したかった様々なサービスがあり、それを提供し続けているピッコロの皆さんはすごいと尊敬しています。私も少しでも利用者の皆さんの力になれるように、支援を続けていければと思っています。清瀬に来て、ピッコロに出会えてよかったです。

赤ちゃんのチカラプロジェクト

市内中学校での出前講座へ赤ちゃんに参加して

～赤ちゃんと一緒に参加して下さったママの感想から～

●今の中学生がどんな感じなのか接点がなく、子どもができてから漠然と不安だったので、思った以上に明るく接している姿に安心しました。擦らずに不安だったのでお互いに触れ合って知り合うことでいい交流の時間だったと思います。

●中学生が素直な感じで素敵でした。いいパパママになりそうだと思います。子どもは泣きっぱなしでしたが、いい経験になりました。

●自分の息子もいつかこんなシャイな笑顔を見せるようになるのかな～と子どもが大きくなるのが楽しみになった。

●自分の取り巻く環境には必ず支えてくれる人がいる。親だけではなく支えてくれるたくさんの方々に感謝してここまで育ててきていることが少しでも伝われば良いなと思いました。

●自分が末っ子で赤ちゃんとは全く接する機会泣く親になってしまったので、こんな授業を受けることが出来る生徒さんがうらやましいです。

赤ちゃん和妈妈と触れ合って・・・

～授業を受けた生徒さんの感想から～

●赤ちゃんが予想以上にふわふわしていてやわらかかった。自分が赤ちゃんの頃は、覚えていないので、どのように接してくれたのか自分にもこのような時があったのかという事を考えた。

●赤ちゃんひとり一人の性格が異なり、接し方も変わることが印象的でした。おもちゃの中の一つをずっと使って遊んでいた子もいて、とても可愛かったです。

●実際に赤ちゃんを抱っこしてみたら、その命がどれだけ大切な重いものなのかひしひしと伝わってきた。本当にかわいらしく、ずっとほっぺがゆるみっぱなしだった。多くの赤ちゃんに触れ合うことができ、とても楽しかった。この先にまた赤ちゃんに触れ合える機会があれば、是非、参加してみたいと思う。

●短い時間の中ではありましたが、いのちの原点ともいえる赤ちゃんには、人を幸せに、笑顔にする力があるんだと感じました。また、私も大切に育てられて今があるんだと分かりました。本当に愛おしかったです。



《会員状況 2015.9.28 現在》 正会員 56名・準会員 158名・賛助会員16名(個人 11名・法人 5 名)

♥3,000 円以上寄付をいただいた方♥

小野寺洋子さん・大川安子さん・加賀谷清さん・斉藤勝美さん・吉田萌菜さん・匿名3名
みなさんありがとうございました！

*認定NPO取得の準備を進めております。そのために毎年 3,000 円以上の寄付者100名を目指しております。

活動を維持していくため、引き続き寄付のご協力をお願い致します。

♥賛助会員♥



新鮮こだわり中国料理
同心居



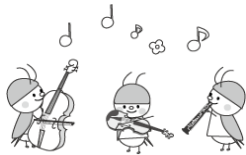
薬樹株式会社



(株) 関工務店

宇都宮病院/スガハラ印刷

8月～9月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場 8/3(月) ◆サブ/アド 調整会議 8/7(金) △K-netひろば 8/17(月)△つどい調整会議 8/18(火)◆3～4カ月児健診(ファミサポ 説明) 8/20(木)○事務局会議(事務所) 8/28(金)○ホームビジター報告会 8/31(月)○定例会 9/3(木) ○団体保育研修会第2弾!! 9/4(金) ○リスクマネジメント研修会 (担当者6名出席) 9/7(月) ◆サブアド調整会議○事務局会議 9/8(火) ◆3～4カ月児健診(ファミサポ説明) 9/8(火) ○赤ちゃんのチカラプロジェクト(五中) 9/9(水) ○赤ちゃんのチカラプロジェクト(五中) 9/11(金)△K-netひろば(アイレック) 9/14(月)OK-net 運営会議 ○つどい調整会議 ○女子医大スリマップ 研修会 9/16(水)OK-net 中里ひろば 9/17(木)○事務局会議(事務所) 9/18(金)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(四中) 9/28(月)○正会員のつどい 9/29(火)HVホームビジター養成講座～10/30(金) 9/30(水) ○事務局会議 △K-netリフレッシュ講座(手作りおもちゃ)	◆ファミサポ HS=ホームスタート HV=ホームビジター 10/2(金)10:00～○認定NPO申請相談(都庁) 10/5(月) 9:15～◆サブ/アド 調整会議(事務所)△K-net 運営委員会 12:00～HV東京推進委員会/14:00～東京協議会(双葉) 13:00～△つどい調整会議 10/8(木) 10:00～◆保育サービス講習会開始～11/11 終了 10:00～ ◆ファミサポ視察 10/9(金)13:30～ ◆近隣市アドバイザー交流会 10/10(土)～10/11(日)アイレックまつり 10/13(火)12:30～◆3～4カ月児健診(ファミサポ 説明) 10/14(水) 10:00～△K-netリフレッシュ講座(カラオケ) 10/16(金) 10:00～△K-netひろば(アイレック) 10/20(火)9:30～ ○事務局会議(事務所) 10/23(金) 10:00～△K-netひろば(アイレック) 10/27(火)9:45～ ○定例会(けやきホール/ゼナハス) 10/31(土)11:00～○女子医大全体交流会(佐藤記念館3階302) 11/2(月)9:15～ ◆サブアド調整会議(事務所) 11/3(火)9:00～ ○支援者親睦会(横浜探索/中華街) 11/5(木)9:30～ ○とうきょう応援事業アドバイザー スリマップ研修会 ～12/8 終了 11/9(月)9:00～ △K-net 運営会議 13:00～△つどい調整会議 11/13(金)10:00～△K-netひろば(アイレック) 11/14(土)10:00～HV東京エリアビジター交流研修会 (新宿区立牛込筆筈(たんず)地域センター) 11/16(月)9:30～○事務局会議(事務所) 11/17(火)12:30～ ◆3～4カ月児健診(ファミサポ説明) 11/19(木)10:00～○育児支援ヘルパー養成講座(～12/16 終了) 11/25(水)9:30～ ◆第1回スキルアップ研修会(アイレック) 10:00～OK-net 中里ひろば(中里地域市民センター) 11/24(火)10:00～○正会員のつどい(けやきホール/ゼナハス)



《編集後記》
 夕方、虹を見た！雨が続き
 いていたほんのわずかな晴
 れ間のことだった。その翌
 日、鬼怒川が決壊し茨城県
 常総市内が大きな被害を
 受けた。
 思いも寄らないことが
 起きるのだと改めて思っ
 た。
 ホームビジター報告会
 で、ホームビジター利用者
 の方が、いつか自分もホ
 ムビジターとして活動し
 たいと話して下さった。参
 加された他市の行政の方
 が、清瀬市は未来のボラ
 ンティアも育成されてい
 る。と感想を書かれた。
 一八年前、ピッコロが任意
 団体として発足して1年
 目に作成した「ピッコロマ
 ップ」をみて子育てしてい
 た方が今ではピッコロの支
 援者となつてゐる。ピッコ
 ロの保育者を利用していた
 方も支援者として活動して
 いる。
 子育ては仕事をしてお
 給料をもらうような目
 に見えるもので返つてこ
 ないが、未来を担う大切な
 お子さんを育てているの
 だと胸を張つて良いのでは
 ないか。
 雨が続いた後の虹はす
 ぐに消えたが、お子さんが
 受けた愛情はずっと心に
 残るだろう。